

生きがいづくりと仲間づくりに！ 熊石生きがい学習塾開校式

町教育委員会による第9期熊石生きがい学習塾の開校式が、5月16日熊石総合支所で行われ、塾生として15人が出席しました。生きがい学習塾は、高齢者が健康で生きがいを持ち、語り合い・学びあい・楽しみあう豊かな人生を送るための場として、12月まで約10回の講座が予定されています。

開校式が行われたあと、熊石歴史記念館に移動し、「熊石の歴史再発見」と題して、第1回目の講義が行われ、塾生たちは教育事務所の職員の説明に熱心に耳を傾けていました。



自然エネルギーで雇用の創出を！ 雇用の創出とエネルギー生産 についての学習会

5月17日、熊石総合支所で、八雲町社会教育推進委員会と自然エネルギー研究会による学習会が行われ、町民15人が参加しました。総務省地域資源・事業化支援アドバイザーの太友詔雄氏を講師に招き、太陽、地熱、風水力や有機物を原料としたバイオガスなどの自然エネルギーを利用した新たな雇用の場づくりについての講義がありました。他市町村や海外での先進的な取り組みが紹介され、出席した参加者からは「町の花のひまわりを利用して何か出来ないか」など、活発な意見が上がっていました。



交通安全は子どもと一緒に！ 親子で学ぶ、幼児交通安全 こぐまクラブ

子どもたちに交通ルールや交通安全への知識を伝える「幼児交通安全こぐまクラブ」が、5月23日に熊石保育園で、5月30日に相沼保育園で行われました。はじめに、警察官や町職員により、信号の見方、渡り方や日常の交通安全についての講話があり、続いて、こぐまクラブのお母さん達による紙芝居が行われ、園児たちは、道路のきまりについて楽しく学びました。その後、全員で国道の交差点に移動し、信号機のある交差点の渡り方や信号機のないところでの渡る訓練を行いました。



防火意識を新たに、災害のないまちづくりを！ 相沼小学校・熊石婦人防火クラブ 合同防火鼓笛パレード

防火意識を新たに、悲慘な火災を防ごうと6月10日に、相沼小学校の児童で構成する相沼少年消防クラブと、今年設立50周年を迎えた熊石婦人防火クラブによる防火鼓笛パレードが行われました。

このパレードは昭和22年に相沼地区で発生した大火を忘れることなく、今後の防火活動に生かしていこうと20年以上も続く恒例行事で、鼓笛隊の軽快なメロディーに合わせ、消防車両を先導に、児童によるカラーガード隊が館平地区から折戸地区を行進し、沿道の住民に「火災のない町」をと呼びかけました。

